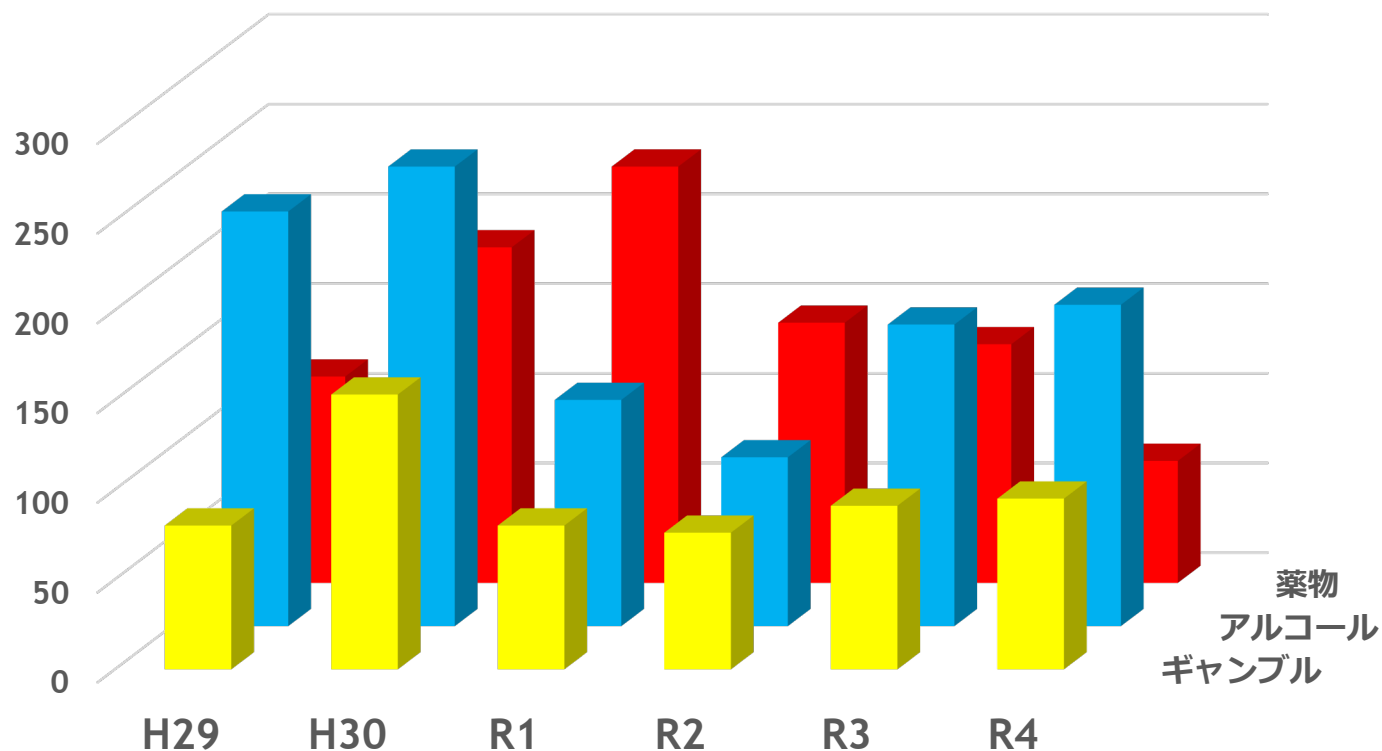


熊本県のギャンブル等依存症対策

熊本県健康福祉部子ども・障がい福祉局
障がい者支援課

熊本県精神保健福祉センター電話相談件数の推移

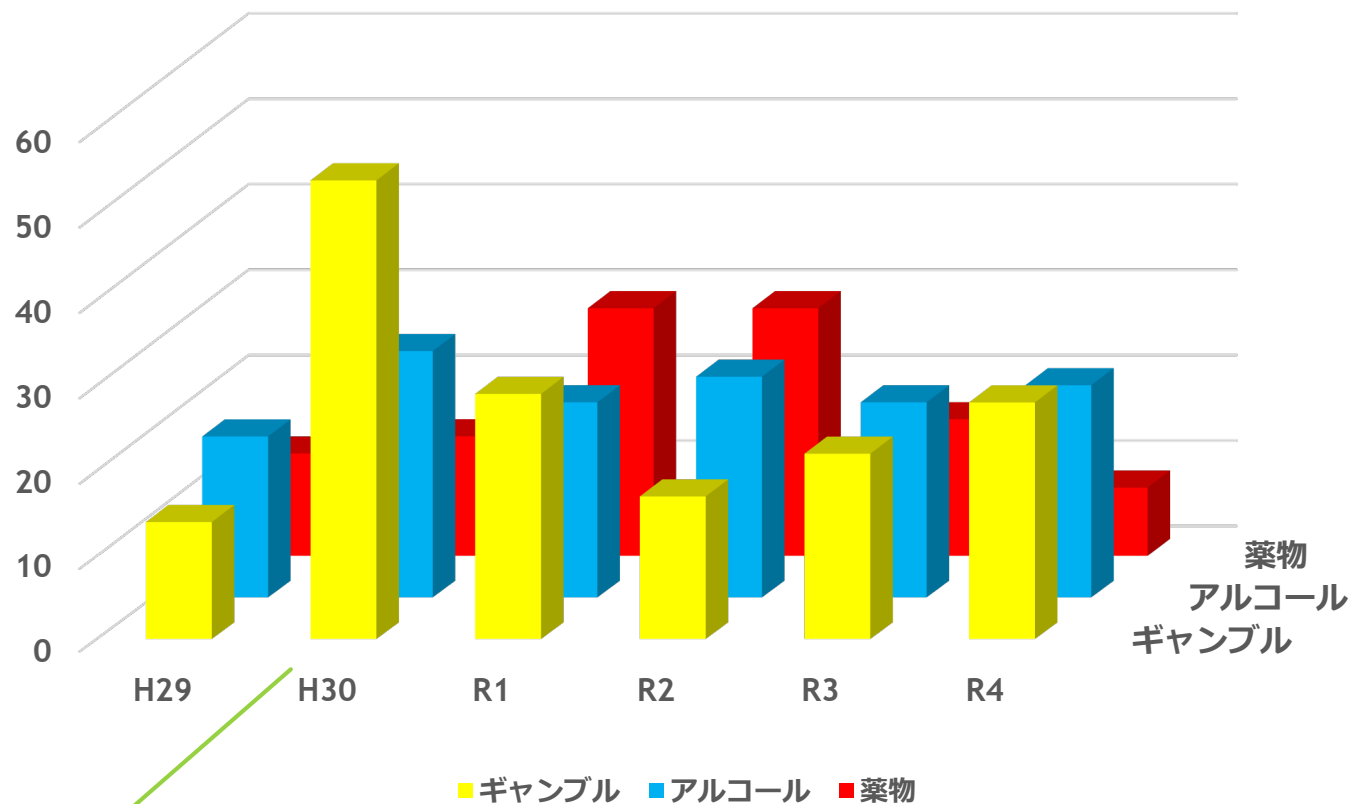


	ギャンブル	アルコール	薬物	計
H29	80	231	115	426
H30	153	256	187	596
R1	80	126	232	438
R2	76	94	145	315
R3	91	168	133	392
R4	95	179	68	342

熊本地震の翌年

■ギャンブル ■アルコール ■薬物

熊本県精神保健福祉センター来所相談件数の推移



	ギャンブル	アルコール	薬物	計
H29	14	19	12	45
H30	54	29	14	97
R1	29	23	29	81
R2	17	26	29	72
R3	22	23	16	61
R4	28	25	8	61

ギャンブルワンストップ相談・薬物専門相談開始

依存症専門医療機関・治療拠点機関の選定状況

(令和5年8月1日現在)

依存症専門医療機関 (ギャンブル等依存症)

菊陽病院

向陽台病院

依存症治療拠点機関 (ギャンブル等依存症)

菊陽病院

向陽台病院

依存症専門医療機関 (アルコール健康障害)

有働病院

菊池有働病院

菊陽病院

益城病院

あおば病院

八代更生病院

人吉こころのホスピタル

酒井病院

熊本県立こころの
医療センター

明生病院

向陽台病院

依存症治療拠点機関 (アルコール健康障害)

菊陽病院

益城病院

向陽台病院

依存症専門医療機関 (薬物依存症)

向陽台病院

依存症治療拠点機関 (薬物依存症)

向陽台病院

ギャンブル等依存症対策を推進する上での主な課題

- 熊本県内のギャンブル等依存症が疑われる人数（約25,000人）に比べ、ギャンブル等依存症の受療（224人）や相談（248件）につながっている人数が少ない
 - ギャンブル等依存症に関する正しい知識や各種相談窓口等の積極的な情報発信
ギャンブル等依存症に対応できる人材（医療従事者や各種相談員）の育成
- 専門的に治療できる医療機関が少ない
 - 地域における専門医療機関の整備、医療機関向けの研修等を通じた人材育成
- ギャンブル等依存症に関連して発生する諸問題の解決に向けた体制の整備
 - 各関係機関との連携を強化する

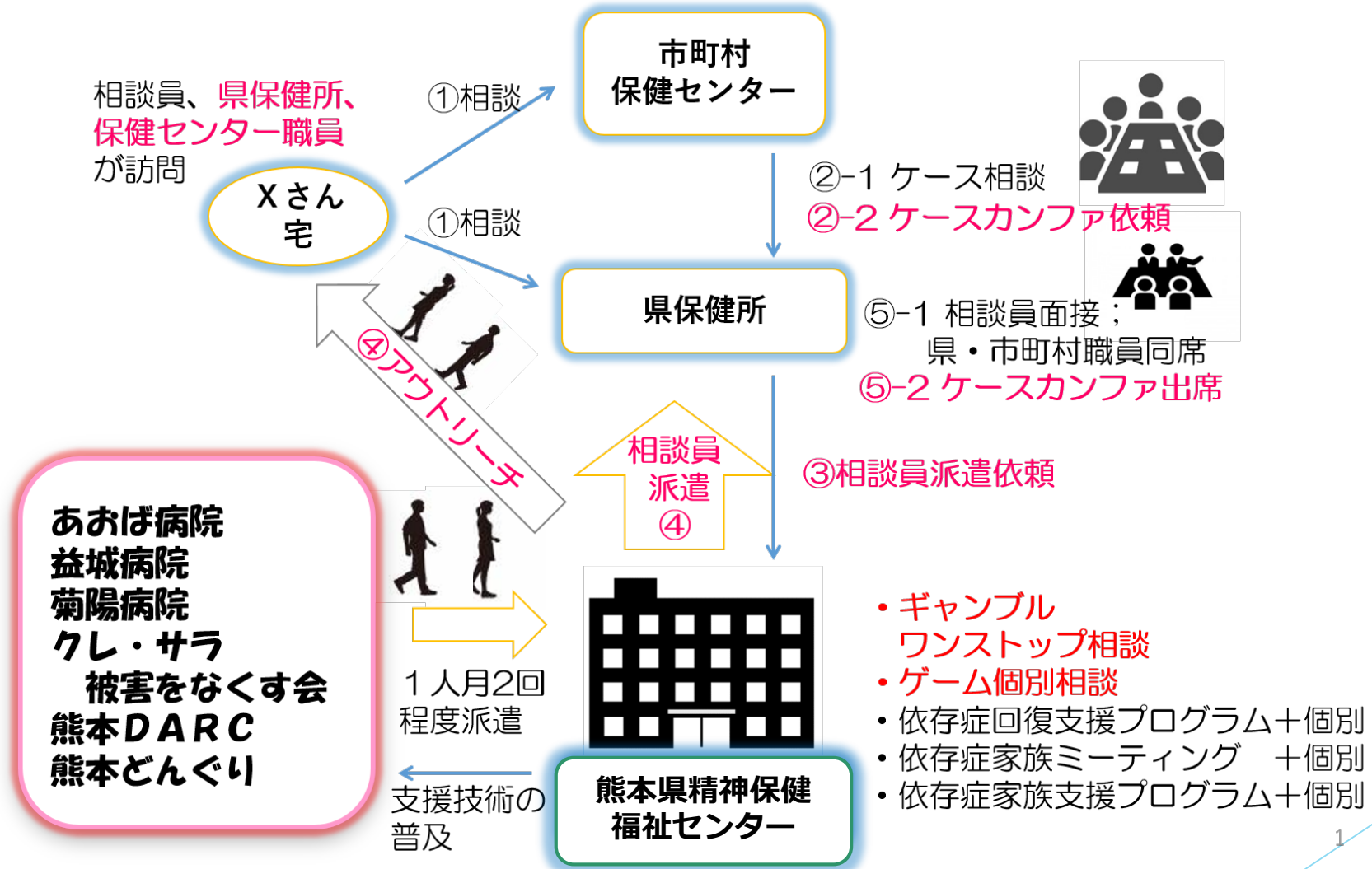
熊本県依存症専門相談支援事業

- ◆平成28年4月に熊本地震が発生
- ◆アルコール依存症の関する相談が急増
- 精神保健福祉センターへの相談件数
平成27年度：58件 → 平成28年度：149件
※約2.6倍



- ◇熊本県精神科協会を通して病院スタッフの派遣を依頼し、平成29年度に事業開始
- ◇平成30年度から依存症全般に対象を拡大

熊本県依存症専門相談支援事業のイメージ図



熊本県依存症専門相談支援事業の成果

- ◆ 行政にないノウハウや経験を活かすことが可能
- ◆ タイミングを逃さず支援が継続される
- ◆ 保健所や市町村等、地域のケースにも対応



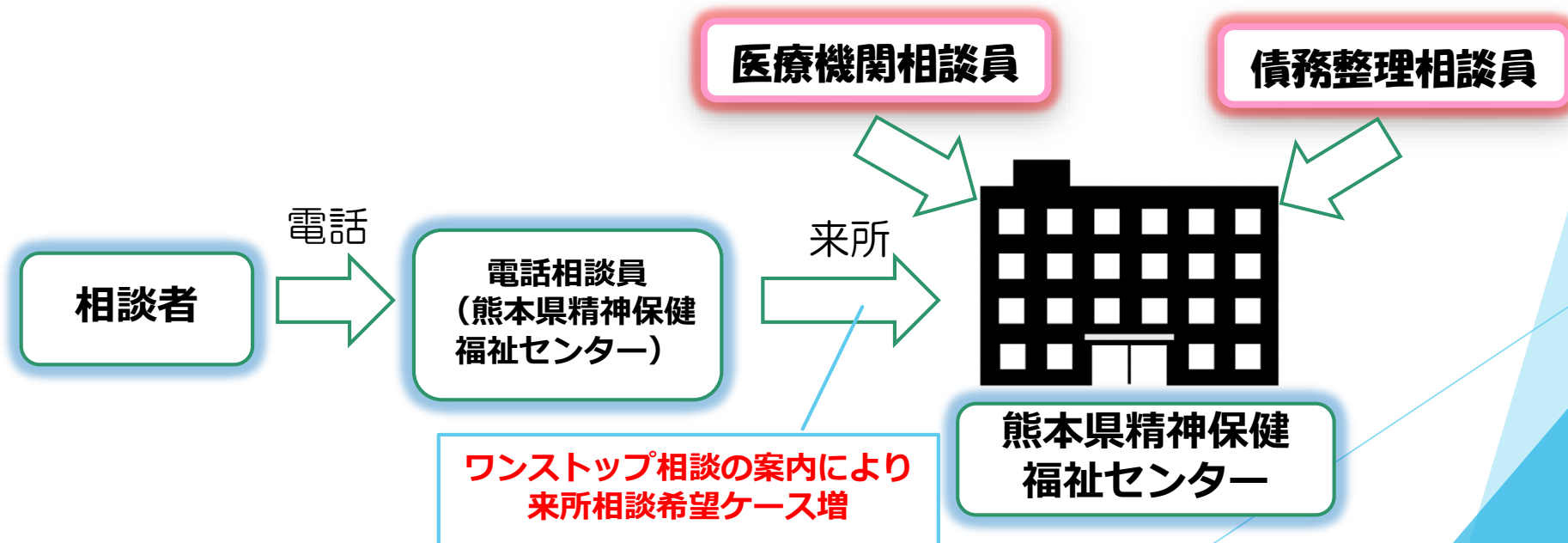
- ◎ 医療機関や自助グループ等への「つなぎ」が実現
- ◎ 県内スタッフのスキルアップ効果
- ◎ 地域の相談体制の整備につながる
- ◎ 行政機関と相談員の関係強化

ギャンブルワンストップ相談について

【概要】

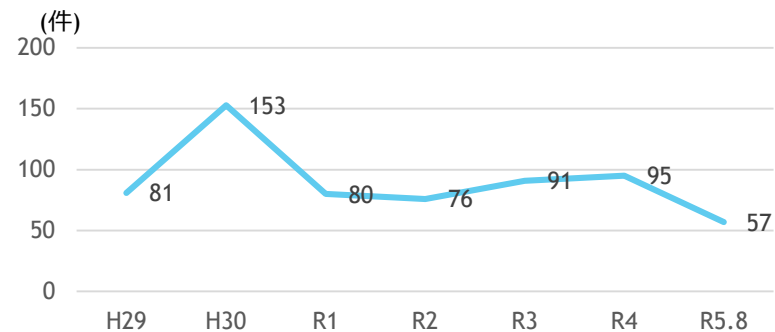
平成30年度からギャンブル依存症の相談に関して医療機関からの相談員と債務整理の相談員2名体制で熊本県精神保健福祉センターにて相談対応を実施。まずはセンターの電話相談員が相談者の相談を受け必要に応じて、来所に繋げワンストップ相談を行う。

【イメージ図】

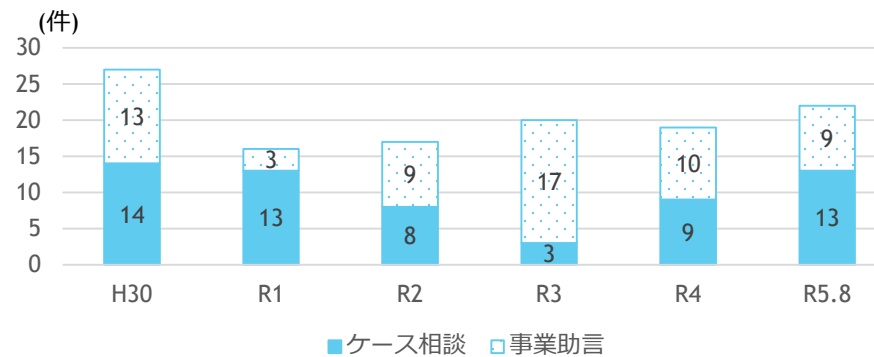


ギャンブルワンストップ相談の実績

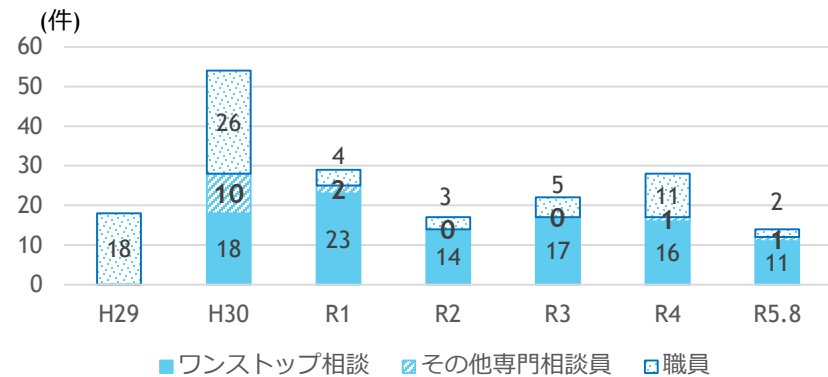
ギャンブル電話相談



技術支援



ギャンブル来所相談



ギャンブル合同相談会（菊陽病院）

- ・他の依存症同様、家族が巻き込まれていく病気である
- ・当事者よりも先に家族が問題に気付き行動を始める
- ・診察前に相談会を行う効果・目的

精神科や依存症への敷居を下げる

正しい疾患理解

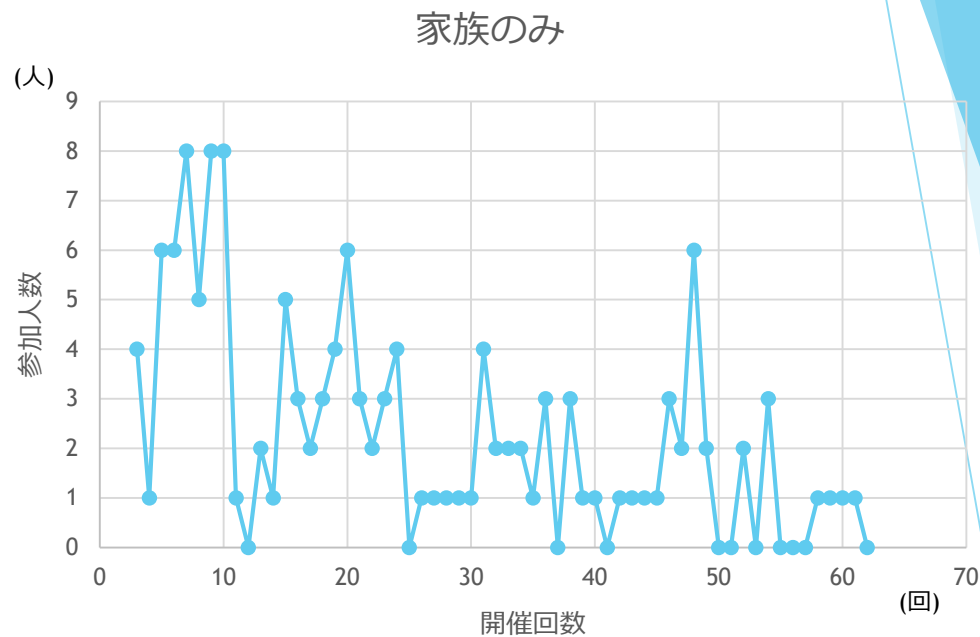
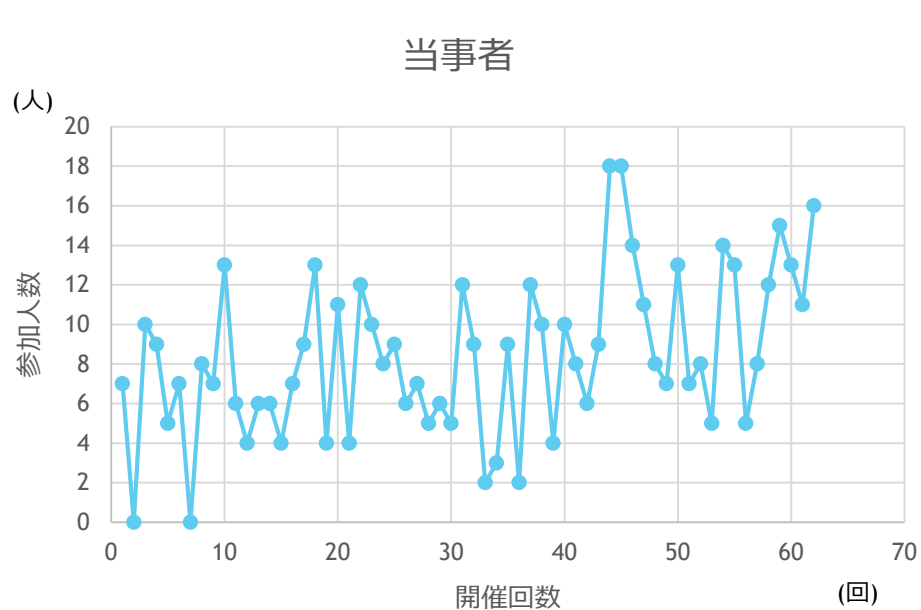
治療動機づけ

相談会のプログラム（2～3か月に1度・土曜の午後）

- ① K J法を用いたグループワーク
- ② ビデオ視聴「ギャンブル依存症」
- ③ 講演「ギャンブル依存症とどう向き合うか」
- ④ 当事者の体験発表
- ⑤ 債務整理について（多重債務の相談員）
- ⑥ 質疑応答

ギャンブル合同相談会の実績

資料提供：菊陽病院

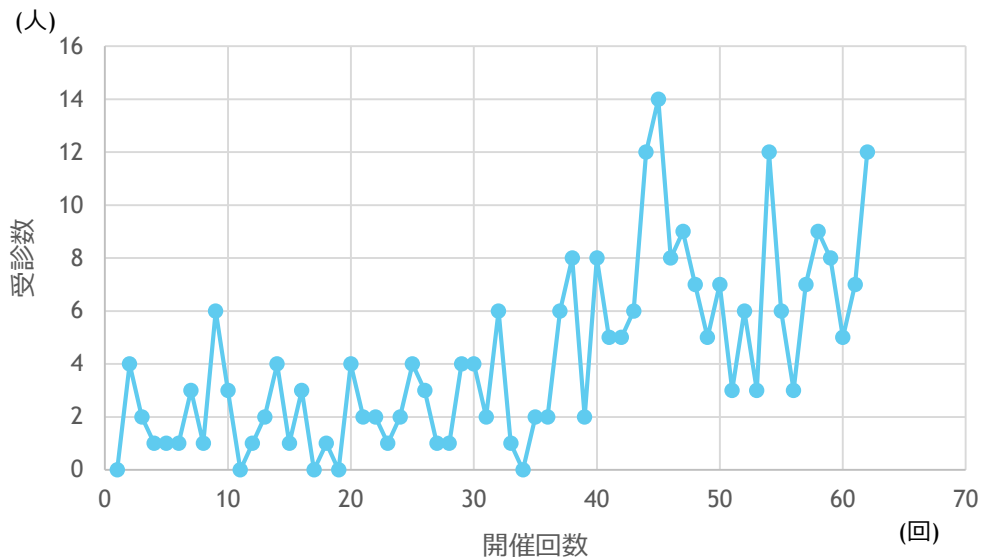


家族のみの参加減少、本人の参加は増加

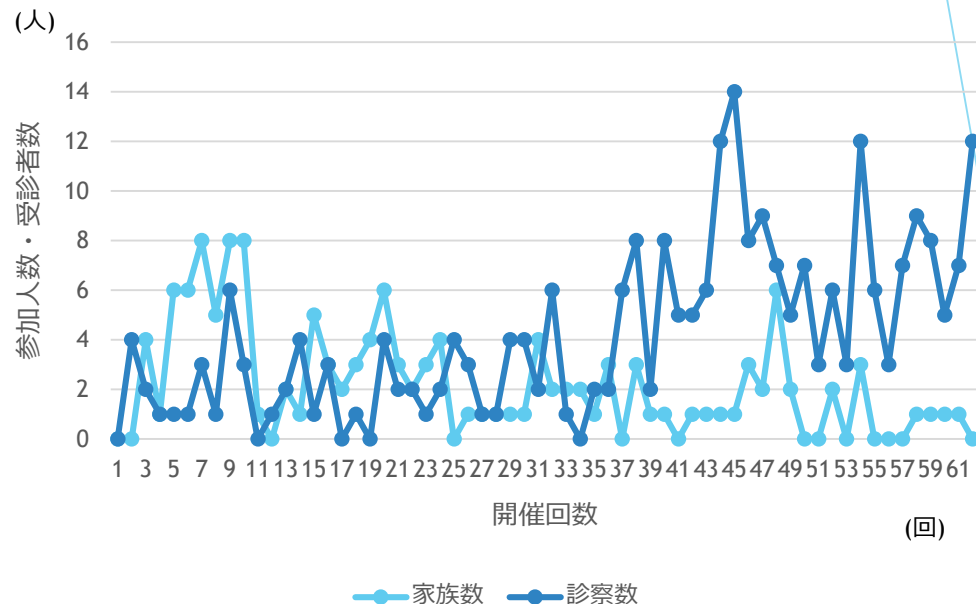
ギャンブル合同相談会の実績

資料提供：菊陽病院

診察数



家族のみの参加数と診察希望者数の比較



診療希望者数が増加

→相談から治療までの期間が短くなった。

当事者が相談会に参加することで治療の動機が高まる

ご清聴ありがとうございました

